２πｒ通信（2022年8月号）　R3 / 8 / 13　海老名精神保健福祉促進会

２πｒでも「精神の病を持つ人の家族がお茶でも飲みながら、悩みを打ち明けたり、気楽に相談できる場所を作りたいね。」という話が役員会で出て先日定例会でお話したところ、Ｉさんと Ａさんが「ぜひ作りましょう。秋ごろスタートできれば」と具体的な実施案を作ってくれているところです。お二人にたたき台を出していただき、それについて皆さんで話し合いぜひ実現させましょう。ご協力をお願いします。

［報告］

新図書の購入　「ルポ・収容所列島 ―にっぽんの精神医療を問う―　東洋経済新報社
じんかれん理事の方からこの本の紹介文を頂きました。⇒本と共に回覧します

＊７/27（水）第 13 回地域活動支援センター結夢推進委員会

＊8/2（火）　じんかれん講演会　３名参加
「精神科医療・福祉への提言」　みんなねっと　事務局長　小幡　恭弘　氏

＊8/5（金）自立支援協議会チームらいふＧＨ「にじのはし」見学会

＊社協にみんなの相談室ができました。
「こころの相談」第１水曜日、第３金曜日（13:00～17:00）要予約　⇒回覧チラシ参照

［予定］

＊8/26（金）10:00～連合会より市への要望書提出（2πより３項目）　市役所７０６

＊8/26（金）13:00～14:30　障がい福祉関係団体と市長との懇談　市役所３階秘書会議室

［市長への要望］市障がい福祉課の精神障がい担当ケースワーカーの数をもっと増やして下さい。

現在、市の精神障がい担当ケースワーカーの数は３名ですが、4500 人～5000 人いると推定される市内の精神障がい者人口に対しあまりにも少ないと言わざるを得ません。精神障がい者本人や家族の相談を受け、生活上の助言をし、病院に繋げたり必要に応じて居宅訪問するなど、多岐にわたり様々な支援を行うケースワーカーの仕事は、病気の特性から、個々の対象者それぞれに丁寧な対応が必要で、時間もかかります。２πｒ内でも「担当のワーカーさんに緊急に面談をお願いしたが、実際対応してもらえるまで、かなり待たなければならなかった」などの声が挙がっています。対象者一人一人に十分な支援を行うためには職員の増員が必須です。せめて最低でも一人は増員してください。

＊11/13（土）13:00～15:00　講演「精神障がい者の薬について」（仮題）
講師　北里大学薬学部薬物治療学１　飛田　夕紀　氏

上記の通り 2πｒ主催で講演会を行います。前もってアンケートにより、皆様のお聞きしたいことをまとめ飛田様にお渡ししたいと思います。次回定例会でアンケートをとる予定ですので各自お尋ねしたいことを考えて来て下さい。お願いします。
（尚コロナ感染の状況により、対面での講演会が難しい場合は、講演を延期する場合があります。）

次回定例会　9 月 10 日（土）13:00～　福祉会館　第 1，２会議室